

家畜市場 価格の推移 (1月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重
スモール	雌	5	5	100.0%	122,100	48,400	78,326
	雄	110	107	97.3%	119,900	9,900	88,590
計	115	112	97.4%	122,100	9,900	88,144	62
F1	雌	180	166	92.2%	268,400	55,000	212,105
	雄	222	208	93.7%	386,100	27,500	276,853
計	402	374	93.0%	386,100	27,500	247,861	70
ホルス(5才) 雌	20	20	100.0%	435,600	92,400	264,660	790

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	10日	112	108	96.4%	1,159,400	597,300	803,448
豊富	16日	271	216	79.7%	1,095,600	566,500	827,526
根室	20日	493	448	90.9%	1,229,800	508,200	834,699
釧路	21日	287	205	71.4%	1,138,500	521,400	798,053
十勝	22日	848	719	84.8%	1,545,500	386,100	854,714
北見	23日	360	315	87.5%	1,083,500	396,000	845,743
		2,371	2,011	84.8%	1,545,500	386,100	827,363

業務報告 (1月分)

- 4日 新年互礼会
- 6日 新年挨拶回り(七日迄)
- 8日 第二十七回乳代精算システムあり方検討会
- 9日 山内酪農組合新年会
- 14日 牛群審査・体型調査(十七日迄)
- 15日 JA合併推進幹事会
- 16日 中国生乳販連理事会
- 17日 高宮ミルクボーイトイレ設置工事検収
- 17日 世羅郡酪農振興協議会・三原市酪農振興会合同研修会
- 20日 畜産GAP研修会
- 20日 東部DMS入力会
- 21日 酪農ヘルパー調整会議
- 21日 西部・高宮DMS入力会
- 22日 湯来南小学校出前講座
- 22日 第一回HARU店舗健全運営委員会
- 23日 備北・南部DMS入力会
- 23日 十日市小学校出前講座
- 23日 広酪ホルスタイン改良同志会三次支部総会
- 23日 第十三回理事会
- 23日 冬期登録事務担当者会議
- 24日 JA合併推進委員会
- 24日 庄原市酪農振興会新年会
- 27日 吉舎小学校出前講座
- 27日 甲奴郡酪農組合総会
- 27日 (株)グリーンウインズさとやま新年会
- 28日 三次工業団地自治会新春臨時総会
- 28日 広酪ホルスタイン改良同志会第四十一回通算総会
- 29日 牛群検定・パソコン研修会(二十日迄)
- 31日 あきたかた酪農振興会新年会

人事のお知らせ

■ 2020年2月12日付け臨時職員採用

氏名	役職
廣井恭子	生産振興課広域需給調整施設係(三次CS検査室 生乳検査業務担当)

お詫びと訂正

らくのうだより1月号(No.310)に掲載した内容の一部誤りがありました。お詫びし訂正します。

【訂正内容】裏表紙「第40回ミルククッキングコンクール優秀賞作品」の作品名

誤	3食3食感ザクザクフレークと野菜POWER満点シチュー
正	3色3食感ザクザクフレークと野菜POWER満点シチュー

【訂正内容】本誌下部

誤	2019年(令和2年)2月[No.310]
正	2020年(令和2年)2月[No.310]

※下線部が訂正箇所

家畜伝染病予防法に基づく定期報告
報告対象家畜の飼養者は、2月1日時点の飼養状況を
管轄の畜産事務所へ毎年提出する必要があります。

1 報告対象者,提出期限

次の対象家畜を1頭(羽)以上飼養している方

対象となる家畜	提出期限
牛,水牛,鹿,めん羊,山羊,馬	毎年 4月15日
豚,いのしし	
鶏・あひる(アイガモを含む),うずら,きじ,だちょう,ほろほろ鳥,七面鳥	毎年 6月15日

2 報告用紙 次のアドレスから入手できます。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/85/kachiku-teikihoukoku.html>

3 報告書の提出先(郵送・ファクシミリ)及び問い合わせ先

管轄の畜産事務所・家畜保健衛生所

※ファクシミリによる報告も可能です。その際は原本を保管してください。

市町別生乳受託量の進捗状況(1月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	今年度累計	前年比(累計)
庄原市	826.0	23.6%	94.1%	8,238.8	96.9%
世羅町	647.1	18.5%	106.3%	6,148.6	101.5%
三次市	485.7	13.9%	96.8%	4,767.2	84.6%
北広島町	451.8	12.9%	100.4%	4,532.3	98.0%
安芸高田市	322.2	9.2%	98.6%	3,130.7	96.0%
東広島市	305.4	8.7%	96.1%	3,017.7	93.6%
府中市	177.2	5.1%	95.8%	1,814.9	91.5%
福山市	97.9	2.8%	81.4%	1,060.4	89.0%
三原市	66.4	1.9%	94.1%	692.2	89.6%
呉市	56.3	1.6%	97.8%	528.2	103.6%
広島市	51.2	1.5%	78.8%	620.3	85.6%
神石高原町	15.7	0.4%	77.4%	176.6	86.4%
合計	3,503.0	100.0%	97.3%	34,728.0	94.6%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

プール乳価(1月分)

プール乳価	113.9162円
前月分プール乳価	113.2587円
前月対比	100.5796%

生乳生産量など前年同期比較(1月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	52戸	46.8%	174,969.9
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	59戸	53.2%	-202,283.3
合計	111戸	100.0%	-27,313.4

注)この比較は、2020年1月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。
(公共機関・廃業組合員は含まない)

生乳受託実績(1月)

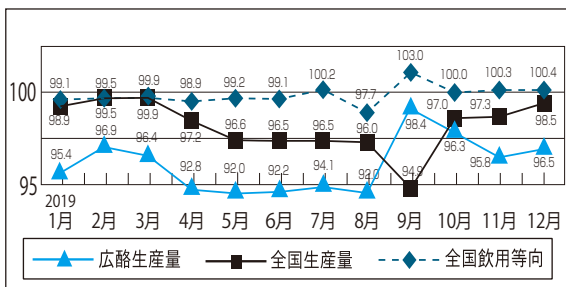
地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	35	9	33	34	111
生乳出荷量(トン)	1,161.2	361.7	825.3	1,154.9	3,503.0
前年同月対比(%)	96.1%	96.4%	98.0%	98.2%	97.3%
前月対比(%)	102.3%	101.1%	103.9%	100.9%	102.1%
生乳出荷累計(トン)	11,400.7	3,545.9	8,283.3	11,498.1	34,728.0
広酪構成比(%)	32.8%	10.2%	23.9%	33.1%	100.0%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(12月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	46,486	841	32.5%	55.27円
2	三次市	29,246	469	20.4%	62.36円
3	安芸高田市	17,582	310	12.3%	56.72円
4	北広島町	12,500	433	8.7%	28.87円
5	府中市	12,216	178	8.5%	68.63円
6	世羅町	8,038	638	5.6%	12.60円
7	福山市	6,687	97	4.7%	68.94円
8	東広島市	3,922	329	2.7%	11.92円
9	三原市	3,898	67	2.7%	58.18円
10	神石高原町	1,597	17	1.1%	93.94円
11	広島市	701	51	0.5%	13.75円
12	呉市	335	56	0.2%	5.98円
	合計	143,208	3,485	100.0%	41.09円

生乳需給の前年比推移(12月)(単位:%)



編集後記



▼今月の特集記事では「縁の下の力持ち」として、酪農家から消費者に届けるまでの一義的責任を担って戴いております。株式会社東酪の運転手・山田夏希さんをクローズアップしました。

▼取材時には、本所内の応接室から賑やかな笑い声がこだまし、事務所内から笑いが出ていました。とても明るい性格で、飲みみにケーションを大切に、CSの現場では「なっちゃん」の愛称で、その笑顔から関係者に元気を与えてくれると聞きます。

▼山田さんの送乳業務では時には、生乳廃棄が発生した場合や緊急対応等で、遠方への送乳に二往復、また、送乳業務の合間を縫って、秋口からは当組合が委託するWCSの収穫作業に従事頂き、大型コンバインを乗りこなすなど、アグレッシブに働かれています。姿から「大変でしょう!」と伺ったところ、山田さんは「好きなトラックに乗らせてもらって、その上で給料を頂けるなんて、社長には感謝しかありません。この仕事は天職です。」との言葉が返ってきました。

▼多くは仕事がついに、厳しい、なんて自分が、できればしたくない。との不満の声をまねに聴くことはあるものの、こうした返答を聞くこと、なんとも清々しく爽やかさを感じました。

▼その松田社長も以前に取材しており、「三方善」の座右の銘と共にインタビューに応じて戴いております。この機会にぜひ当組合HPからバックナンバー「二〇一五年(平成二十七年)九月〔No.二五八〕」をご覧頂ければ幸いです。

(T・Y)